

統合診療棟 工事進捗ご報告

2021年から始まった工事も今年で3年が経ちました。
おかげさまをもちまして、無事に鉄骨建方を終え、内外装
の仕上げと設備工事、外周道路の整備が始まっております。
今後も引き続き皆さまの温かいご支援、ご協力を賜ります
ようよろしくお願い申し上げます。

阪大病院再開発企画整備室



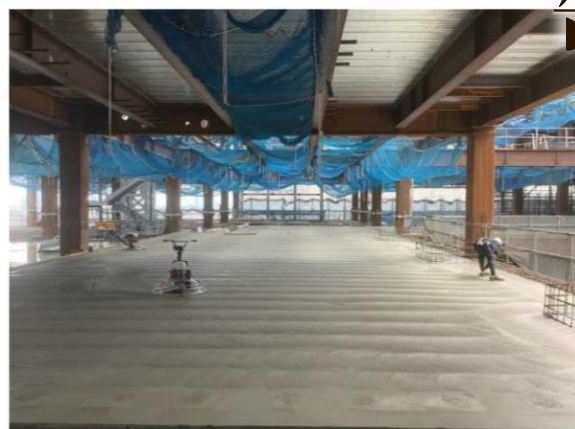
2021年 工事現場航空写真



2024年 工事現場航空写真



2023年6月 B2階 リニアック躯体施工状況



2024年4月 6階 スラブコンクリート打設完了

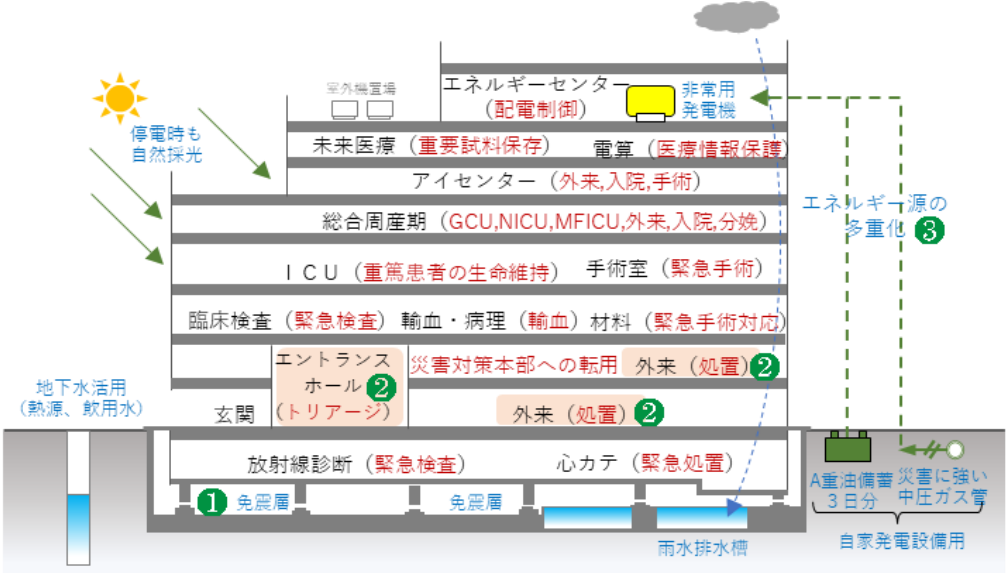


2024年3月 工事用タワークレーンクライミング風景



2024年8月 B1階 MRI壁工事

統合診療棟建築による阪大病院の機能強化



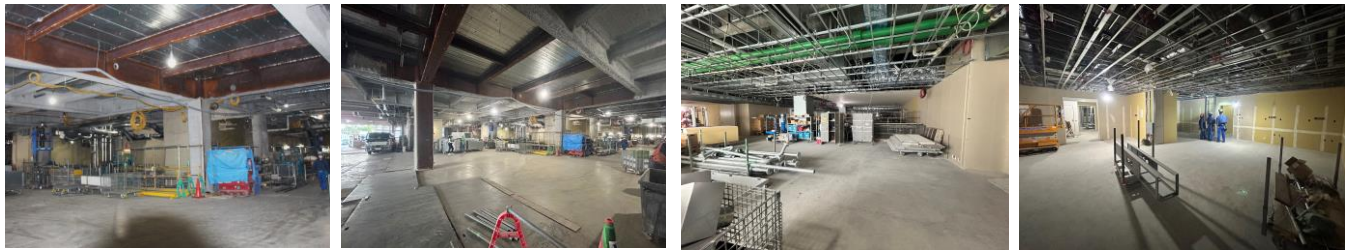
① 免震構造の採用

免震構造により地震時の揺れを低減し、揺れによる建物被害の発生を抑制することで、診療機能・臨床研究機能などの病院機能を維持・継続可能としております。



② トリアージ・処置スペースの確保

災害時の傷病者の受入で必要となるトリアージスペース、処置スペース、また、それらを俯瞰できる位置に災害対策本部を設置するなど、災害時に必要となるスペースをBCP（事業継続計画）に基づき設定しております。



③ 供給エネルギー源の多重化

災害時に商用電力が供給停止された場合、非常用発電機にて配電を継続しますが、既存の都市ガス（中圧ガス）をエネルギー源とする発電機に加え、備蓄燃料（A重油）をエネルギー源とする発電機を新たに2基採用することで、停電リスクに対応いたします。

